

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	医師需給見直しに関連した検討会			担当部局庁	医政局	作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課	課長：武井 貞治	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	「新医師確保総合対策」(平成18年8月地域医療に関する関係省庁連絡会議)において平成20年度から最大10年間に限り、医師不足県を対象とした暫定的な医学部入学定員の増員を行っているが、平成30年度以降の対応について今後の医学部入学定員の在り方等の方向性の検討が必要であり、また「経済財政運営と改革の基本方針2015」(平成27年6月30日閣議決定)においても、「医師・看護職員等の需給について、検討する」とされたことから、医療従事者の需給見直しについて、検討を行う。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	医療従事者の需給見直しについて、検討を行う。						
実施方法	直接実施						
予算額・ 執行額 (単位：百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	2	0	0
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	0	0	2	0	0
	執行額	-	-	0.7	-	-	
	執行率 (%)	-	-	35%	-	-	
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	35%	-	-		
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	計	0	0				

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績								
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	本事業は、医師需給の見通し及びその対策を検討し、その結果をもって、平成30年度以降の医学部定員の在り方等について、対応するもの。よって事業実施期間中に定量的な目標を設定することは困難である。	平成28年度において検討会を2回、分科会を5回開催した。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	医療需給見通しに関連した検討会での議題数	総合議題数	実績	題	-	-	2	-	-	
			目標値	題	-	-	1	-	-	
達成度			%	-	-	100	-	-		
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	医師需給見通しに関連した検討会で提出された報告書数	報告書数	実績	本	-	-	1	-	-	
			目標値	本	-	-	1	-	-	
達成度			%	-	-	100	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	検討会及び分科会の開催回数	活動実績	回	-	-	7	-	-		
		当初見込み	回	-	-	5	10	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X / Y X:執行額 Y:検討会等開催件数		単位当たりコスト	百万円	-	-	0.1	-		
			計算式	/	-	-	0.7/7	-		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること								
	施策	今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること（施策目標I-2-1）								
	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		-	実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図る。									
	改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度	%		-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

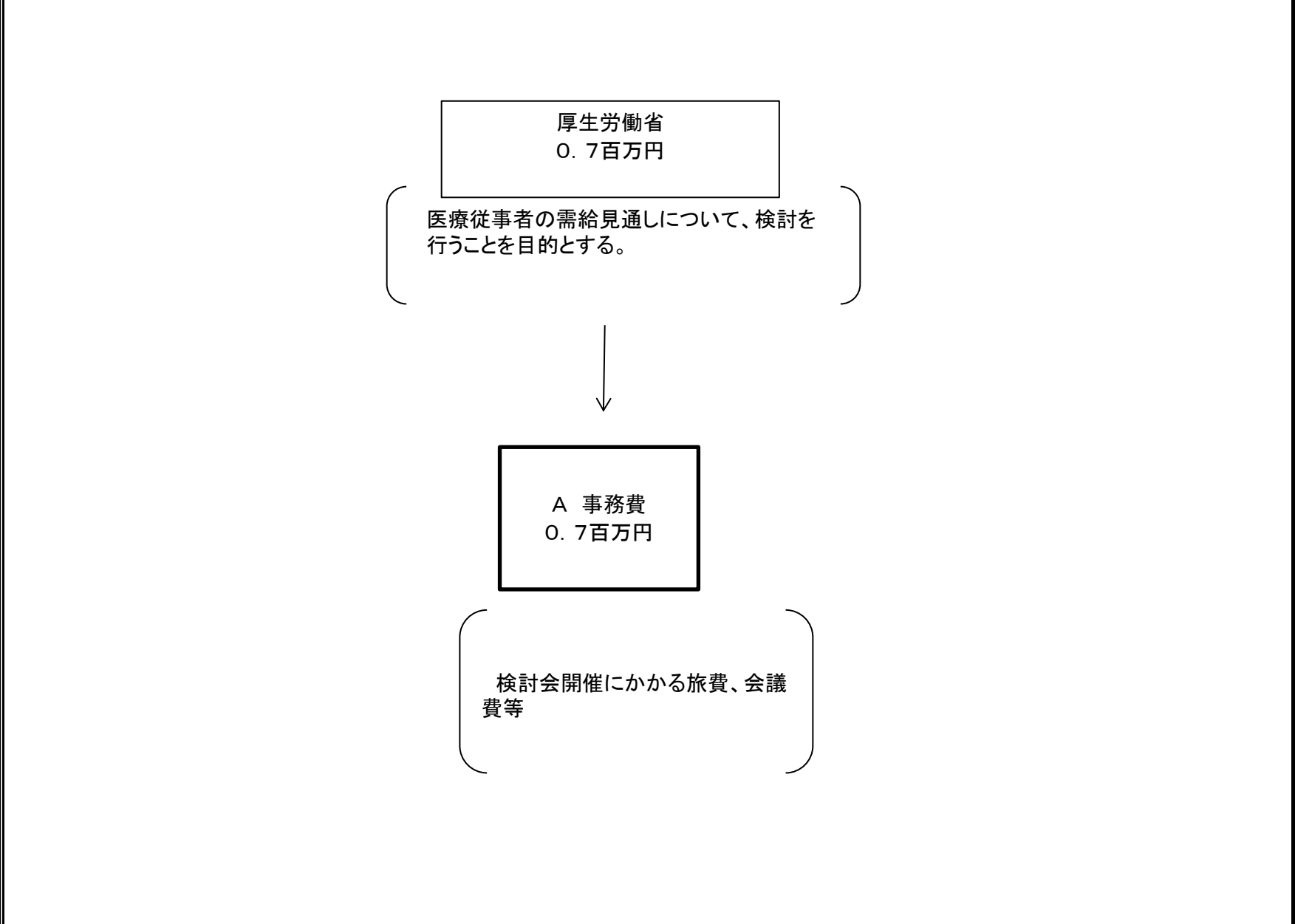
事業所管部局による点検・改善		
項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	○	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。
	○	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。
	○	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。
事業の効率性	-	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。
	無	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。
	無	競争性のない随意契約となったものはないか。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。
	○	単位当たりコスト等の水準は妥当か。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。
	○	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)
-	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	
-	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	
事業の有効性	○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。
	-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。
関連事業	-	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)
		所管府省名
		事業番号
		事業名
点検・改善結果	点検結果	医師等の需給に関して検討を行うことは、高齢社会が一層進む中で、人口構造の変化や地域の実情に応じた医療提供体制を構築するため、地域医療構想との整合性の確保や地域間偏在等の是正などのために必要な事業であり、今後の需給対策の推進に成果を活用したい。
	改善の方向性	事業の内容・規模・予算額等について精査し、適切な執行をして参りたい。
外部有識者の所見		
H28年度より開始されており、H28年度の執行は適切と思われるが、H30年以降の対応を検討するための事業であり、今後の継続の必要性(毎年継続する必要性)、内容・規模・予算額については再度検討した上で実施すべき。(栗原 美津枝)		
行政事業レビュー推進チームの所見		
一部改善	事業内容	外部有識者の所見を踏まえ、今後の継続の必要性(毎年継続する必要性)、内容・規模・予算額について再度検討すること。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		
廃止		外部有識者の所見を踏まえ、今後の継続の必要性を検討した結果、廃止することとした。

備考					

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-005
平成28年度	新28-004				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



費目	A.会議出席委員(複数)		金額 (百万円)	費目	B.		金額 (百万円)
	用途				用途		
委員等旅費	会議出席(旅費)		0.6				
計			0.6	計			0

**費目・用途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

